

第25回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会会議録

- 1 会議名 第25回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会
- 2 開催日時 令和4年1月24日（月）午後1時30分から午後3時
- 3 開催場所 一関市役所特別会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 石川隆明委員長、齋藤清壽副委員長、千葉敏紀委員、小野寺愛人委員、千葉光祉委員、鈴木淳委員、菅原幹成委員、村上秀昭委員、千葉晃委員、菅原彰委員
 - (2) 事務局 小野寺啓事務局次長兼総務管理課長、吉田健総務管理課長補佐兼施設整備係長、石川勝志総務管理課主任主事
Web参加 一般財団法人日本環境衛生センター6名（以下、日環センター）
- 5 議 事
 - (1) 施設整備基本計画について
 - ① エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備基本計画について
 - ② 一般廃棄物最終処分場整備基本計画について
 - (2) 余熱活用について
 - (3) ごみ処理に関する基本的な考え方について
- 6 公開、非公開の別 非公開
- 7 協議内容

(1) 施設整備基本計画について

事務局 本日は、エネルギー回収型一般廃棄物処理施設と最終処分場の施設整備基本計画（案）について、現段階の未定稿のものであるが、ご意見をいただきたい。

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備基本計画の大きな修正点は3点。1つ目は、エネルギー回収率について、焼却施設のプラントメーカーへのアンケート結果を基に追加や修正をしている。2つ目は、施設配置計画について、配置例を追加している。3つ目は、概算事業費と財源計画について、プラントメーカーへのアンケート結果を基に追加している。

一般廃棄物最終処分場整備基本計画の大きな修正点は2点。1つ目は、施設の配置例を追加している。2つ目は、概算事業費について、参考資料等を基に修正している。

委員長 はじめに、エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備基本計画からお願いする。

委員長 概算事業費は、プラントメーカーへのアンケート結果の平均額と説明があった

が、基本構想時の事業費規模とかけ離れている。施設の配置例については、候補地を有効に活用するための様々な条件を付して行ったプラントメーカーへのアンケート結果を基にして、このようなレイアウトが良いだろうということだと思うが、諸条件がある中でこの一つの案だけを基本計画に記載するのがよいのかどうか。

事務局 平成29年3月に取りまとめた廃棄物処理基本構想では、概ね90億円程度であった。今回のアンケートは、様々な条件がまだ定まらない中で依頼したこともあり、金額が膨らんでいるというところがある。

これに対して実際の実績の状況を確認してみると、2017年から2021年の過去5年間で、規模が近い1日当たりの処理量が80トン以上200トン未満の焼却施設の建設に係る契約額は、おおよその平均では1トン当たり1億円前後となっていた。当組合は106トンであるので、過去5年間の実績からすると、100億円前後になる。ただし、今は建設費が上昇傾向にあり、そのあたりは日環センターから補足があればお願いしたい。

日環センター メーカーへのアンケートによる事業費の平均額は、メーカーからの話では、やはり昨今の実勢価格は上がっているとのことであった。コロナの影響で資材の調達が難しいというところも考慮したということもあった。また、今後の工事内容について、示された条件ではまだ想定ができないところがあるので、少し高めだという回答をいただいている。実際の事業者選定の段階では競争になるため、メーカー側では若干金額を下げてくることはある。

委員長 不確定要素がある中での事業費ということである。計画に事業費を記載する意味と今後の影響についてはどうか。

事務局 施設整備基本計画は公表する。公表した内容は、これからの事業者選定に影響してくるものか。

日環センター アンケートの結果は結果であるので、アンケートの結果はこういう結果であった、あるいは、近年の動向を見るとこのぐらいであるといった差を載せるということは可能と思う。

委員長 アンケートの結果と、実勢価格を併記するということはどうなのか。

日環センター 併記する方法もある。ただし、近年は値段が上がっていると聞いている。

委員 アンケートはアンケートであるので、実勢を基に算定しないと、メーカーアンケートと実勢価格とでかけ離れているものを記載するのは、よくないと思う。候補地の地形は2段になっているが、以前は地上ピットという方法もあるという話も聞いていた。この地上ピットという方法は、現実的ではなかったということか。

日環センター 1点目については、今回は計画書というところであり、アンケート結果を必ず採用しなければいけないわけではない。事務局と最終的な詰めを行い、記載の仕方について調整させていただきたい。2点目については、段差を活用した地上ピットを整備するといった提案については、メーカー側には段差を活用するような提案について話をしていたが、焼却施設の整備において段差を活用したような配置を提案してきたメーカーは1社もなかった。段差を活用したピットの配置はどうかと話をしてみたが、想定される段差が大きすぎ、現段階では想定できないという話を聞いている。

委員 アンケートは何社に出したのか、どういったアンケートの内容だったのかを教えてください。

事務局 アンケートは、発電を行っており、ストーカー炉の実績がある8社に対して行った。内容は、事業費だけでなく配置や公設公営の場合とDBOの場合の違いもアンケートを行った。

委員長 この基本計画は、施設整備に向けた基本条件をこの計画で整理検討し、施設整備の基本計画として取りまとめるという位置付けとなっている。この基本計画が土台となって設計に回っていくことになると思うが、計画書の中身としては、このような内容が一般的か。

日環センター 基本計画については、こちらで要件を設定してアンケートを行い、その回答を反映させた内容となっているが、実際にこれから事業者を選定する際は、もう一度詳細な見積もり設計図書を業者から取ることになるので、現状ではこのくらいの内容となるのが一般的である。

委員長 基本計画は3月を目処に策定しているが、それまでの手順を教えてください。

事務局 基本計画は、2月に周辺自治会説明会、3月の住民説明会、千厩地区説明会で概要の説明を行う。説明会でいただいた意見を反映し、最終的な計画としてまとめていく。次回の整備検討委員会で最終案をお示し、その後に組合議会の議員全員協議会で説明を行い、管理者副管理者会議で決定というスケジュールを考えている。

委員 エネルギー回収率のところだが、熱利用をする方向で考えていきたいという理解で良いか。

日環センター 2,000kWを下回る発電量とすると、何らかの熱利用は必要である。

委員 平成27年度から令和元年度までの主な契約実績の一覧が示されているが、組合の計画する焼却施設と同規模の100トン前後のものに絞って、それぞれの建設費用や経費を比較した形まとめていただければと思う。要望である。

日環センター それは可能である。

委員長 次に、一般廃棄物最終処分場整備基本計画について、協議をお願いします。

委員長 基本構想時との事業費の開きはこういった要因によるものか。

日環センター 最終処分場の建設は図面発注となる見込みである。現在行っている基本設計において数量を把握するため事業費は変わってくると思うが、資料に掲載している造成費は基本的には基本構想は考慮せず、数量をもとに単価をかけて概算を算出したものである。水処理施設は性能発注となるため見積書を取るようになるが、見積書の徴収は基本設計の段階になるため、事業費は変わると思う。基本構想時より事業費が高くなっているが、今後も段階により増減していく。

委員 施設配置計画例について、説明会などではいろいろな心配の声があり、質問状なども提出されている。今回の配置例は、きわめてシンプルな埋立地と水処理施設、調整池のみの配置例となっているが、これまでに、地元から寄せられた話では、搬入路の話などはなかったか。

事務局 直接的な搬入路の話はないが、今までの説明会の中で、市町村合併の時の約束が守られていないとの発言をされた方がいた。調べてみたところ、道路整備のことだった。候補地において未整備となっている道路があるといった内容のようである。

委員 施設配置計画例は、ゾーニングとして示したほうが良いと思う。緑地や今後内容を検討していくところもあるので、ゾーニングとしたほうが良いと思った。

(2) 余熱活用について

事務局 前回の会議で意見等を踏まえて文言の整理をしたことから確認をお願いします。
(資料No.3により説明)

委員長 今は施設整備検討委員会で検討をしているが、方向性については、管理者副管理者協議で確認していくことも必要であるし、地元との意見交換も必要と思うので、よろしく願いしたい。

(3) ごみ処理に関する基本的な考え方について

事務局 前回の協議において、ワーキンググループを設置して検討は進めることとしており、その具体案について説明する。

(資料No.4により説明)

委員長 スケジュールについて、ワーキンググループ会議の開催が2月から5月となっているが、できれば2月、3月でおおよそのところをまとめた方がよいと思う。課題の把握は、やはり現在の職員の方がよいということであれば、おおよその内容は年度内にまとめ、仮に職員に異動があったとしても、最後のまとめくらいは

新年度に持ち越すくらいのスケジュール感で進めたほうが良いと思う。

委員長 他に意見がなければ、早速、ワーキンググループを設置して進めること。

担 当 課 総務管理課